

## 令和4年度第1回摂津市男女共同参画推進審議会 要点録

日 時：令和4年11月9日（水）14時～16時

場 所：摂津市立コミュニティプラザ 会議室1、2

出席者：会長、副会長、他委員7名（計9名）

事務局：由井課長・杉本

- 案 件
- 1 第4期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～ 進捗状況報告
  - 2 第13期摂津市男女共同参画審議会 振返り
  - 3 その他

### 案件1

- ・今年度より第4期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～がはじまり、1回目の進捗状況報告を行う。
- ・市役所内の他の計画の進捗管理と共通の様式を使用しており、その様式に沿って説明
- ・今期計画で新たに設定したKPIを掲載し、経年管理が可能
- ・各審議委員より下記の意見有事務局との意見交換
- ・女性問題相談事業において、防災用備蓄品の生理用品の配布を行ったが、貧困対策としてではなく、ジェンダー平等の視点からトイレ内での生理用品の常設化を目指したい。
- ・健幸マイレージと連携したイベント開催はとても良いと思う。
- ・地域で子どもを見守れるような体制づくりは重要である。大阪人間科学大学のユースリーダー養成講座は若い世代が学び発信できるので、良い事業である。
- ・デートDV出前講座において、学校では行いにくい性教育も含んだ内容になっている。市内高校でも行えるよう働きかけを行い、中学校、高校、大学とそれぞれの成長段階に応じて行えると一貫性が出て良い。
- ・女性管理職が増えない要因は、やはりまだ子どもの世話を女性が担うべきであるという風潮があるからだと思う。
- ・市役所内の各種審議会において、女性委員の比率が増えるよう女性人材登録制度を積極的に活用してもらえよう各課に案内を行っている。

### 案件2 第13期摂津市男女共同参画審議会 振返り

- ・今回の審議会をもって、第13期男女共同参画推進審議会は終了
- ・令和2年11月25日の委嘱式をはじめ、本日を含めて7回の審議会を開催。主な審議内容は「男女共同参画に関する市民意識調査」「第4期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」の内容についてであり、多くのご意見を賜った。

- ・「男女共同参画に関する市民意識調査」は、「第4期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」策定前に、現在の市民の皆様の意識を把握するために、実施。今回の回収率は23.2%と前回の回収率である44.8%より大幅に少ない結果となり、そこで安威川以北、安威川以南と二カ所で計画の説明会を実施、直にご意見を伺う機会を設けた。
- ・委員の皆様のご意見は、質問項目数が多い、調査票ばかりでイラストをいれた方がよい等、回答者の立場になったご意見を賜り、次回市民意識調査の改善ポイントとなった。
- ・市民意識調査の内容から議論は広がり、教育現場での性教育は若年層から行うべきであるとのことのご意見や、今回の調査は結果だけでなく、DVについての知識等、市民にとって良い意識啓発に繋がる等のご意見もいただいた。質問項目以外に、意識啓発の観点で市民意識調査を実施する意義も考えるきっかけとなった。
- ・結果についても「男女が平等になっている」という質問項目に対し、前回より意識が下がっていることについては、男女平等に関する問題意識が出てきたからこそ、厳しい結果になっており、世間が男女平等意識について関心が出ているとのことのご意見があった。
- ・市民意識調査を踏まえて、3回目～6回目の審議会では「第4期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」の策定について審議。
- ・新たな計画を策定する訳ではなく、第3期の内容を継承しつつ時代の変化と共に注視すべき施策について変更をするイメージでご意見をいただいた。
- ・第4期摂津市男女共同参画計画の素案ができた時点で、令和4年の2月からパブリックコメントを行った。19人、58の多くのご意見をいただいた。ご意見を素案へ反映し、最終案として審議会委員に確認いただき、完成。
- ・各委員の審議会に対する意見や感想を発表
- ・この審議会では、活発的な意見を聞けたが、別のコミュニティではまだ男女共同参画に無関心なところもあり温度差を感じた。
- ・この審議会に参加し、自分自身の行動がグレーな部分があると感じた。
- ・人の意識や感覚を変えることは難しいと思う。変えるためには教育は非常に重要であり、偏ったジェンダー意識を子どもたちに植え付けないようにしないといけない。

案件3 その他  
特に無し